

お寺のデイサービス

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい…
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

還る家
ともに

〒244-0002

横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348

FAX 045-881-0379

E-mail@zenryouji.jp

http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺還る家ともに

還る家 ともに日誌

みそづくり



去年に引き続き、今年も、お味噌
をつけました。大豆を煮て、すり
つぶし、こうじと塩を混ぜてお団
子にして、かめの底にたたいて入
れ、消毒して密閉して出来上が
り。簡単！簡単？ いえいえ、本
を見ながら、これでいいのか、こ
れでいいのか？ドキドキ大騒ぎ。

大丈夫かな？半年後に

請う 御期待



僕は介護の現場で働くようになって、若造ながらいろいろな体験をさせてもらってきた。「おにーちゃん！」とか言ってくれるおばーちゃんもいて、ホントにかわいがって貰って、笑ったり、怒ったり、わがまま言ったり、毎日幸せに過している。心の底から笑顔でいられてお給料をもらえるなんて、サイコーの仕事だと思うのだが、あんまり人気はないらしい。お寺で畑をやらせてもらえるようになり、ボランティアさんにもたくさん助けてもらいながら、お年寄りの知識をもとに、いろいろな作物を作ってくれた。皆に感謝しています。今は寒い時期なので、日向を耕し、石を拾ったり地味な作業をしている。力仕事なので僕の担当。一緒に来てくれるおばーちゃんは、玉ネギの葉の具合を見たり、フキノトウを探したり、うろうろしている。僕は畑を耕し、ばーちゃんはうろうろ。転んだら、どーすんだと怒られそうだが、お互い好きにやって、取ったフキを自慢してきたり、おっきな声で会話したり、サイコーに楽しい。鍬を置いて、汗をぬぐいながら、空を見あげたり、遠くのおばーちゃんを目で追っていると、なんとも言えず、時間がまるやかに流れている気がしてくる。お互い出来ることをやって、上でも下でもない関係を感じる。こんな体験ができるなんて、お寺のデイサービスありがとー！

池田 新

編集後記

先日、ふきのとうを取りました。毎年思うことですが、寒空の中、「足腰のために、散歩に行こうよ」とお誘いしても、なかなか、腰が上がりません。ところが、梅が咲き始めたころからでしょうか？「梅を見に行こう」「ふきのとうを取りにいこう」とお誘いすると、まず、顔がパット上がりますね。そして、「私も行こうかしら？」「あなたも行こうよ」と、一人、二人と、輪が広がります。自然の力には、かないませんね。すばらしいですね。これから、ふき、たけのこ、桜、自然の力に感謝です。坊

ボランティアさん 敬称略

中嶋 芳江	秦野かねよ
安藤 信子	竹中 秀子
西岡美都里	寺島 美代
渡井 敏子	朝倉 好子
別府与志子	濱崎 芳子
市野和歌子	弓削 福子
矢口 和子	秦野 雅子
有働 桂子	飯島 慶子
斉藤 悠子	藤野 淳子
遠嶋 信子	藤井千恵子
八蔵巻靖子	美濃口静子
米村 正男	小寺 久枝
江田 峯子	中島 雄子
土田 正夫	大木 真紀
村井ヒテ子	江尻 伸子
牛島 寛子	大金スエ子
金原美枝子	仙庭 治恵
犬塚 照夫	松村 節子

おねし

開設以来、4年間、茅ヶ崎の來恩寺さんから、ビハーラ鎌倉の研修の延長で、6人の女性が週に1回ずつ順番で、食事作りボランティアに来てくれていました。お引越しなどの事情で、3月でおやめになることになりました。まだ、善了寺の中でも始めたばかりで、定着していない時から、先頭になって助けていただいた皆様でした。心より感謝いたします。

ボランティアさん募集

お話相手、食事づくり、カラオケ、習字(生徒)、手芸、園芸などの趣味活動など、ご都合にあわせてお力をお貸しください。詳細はお問い合わせください。

